

やまめ

148号

五木村議会だより 2024.4.30発行

ご入学おめでとう



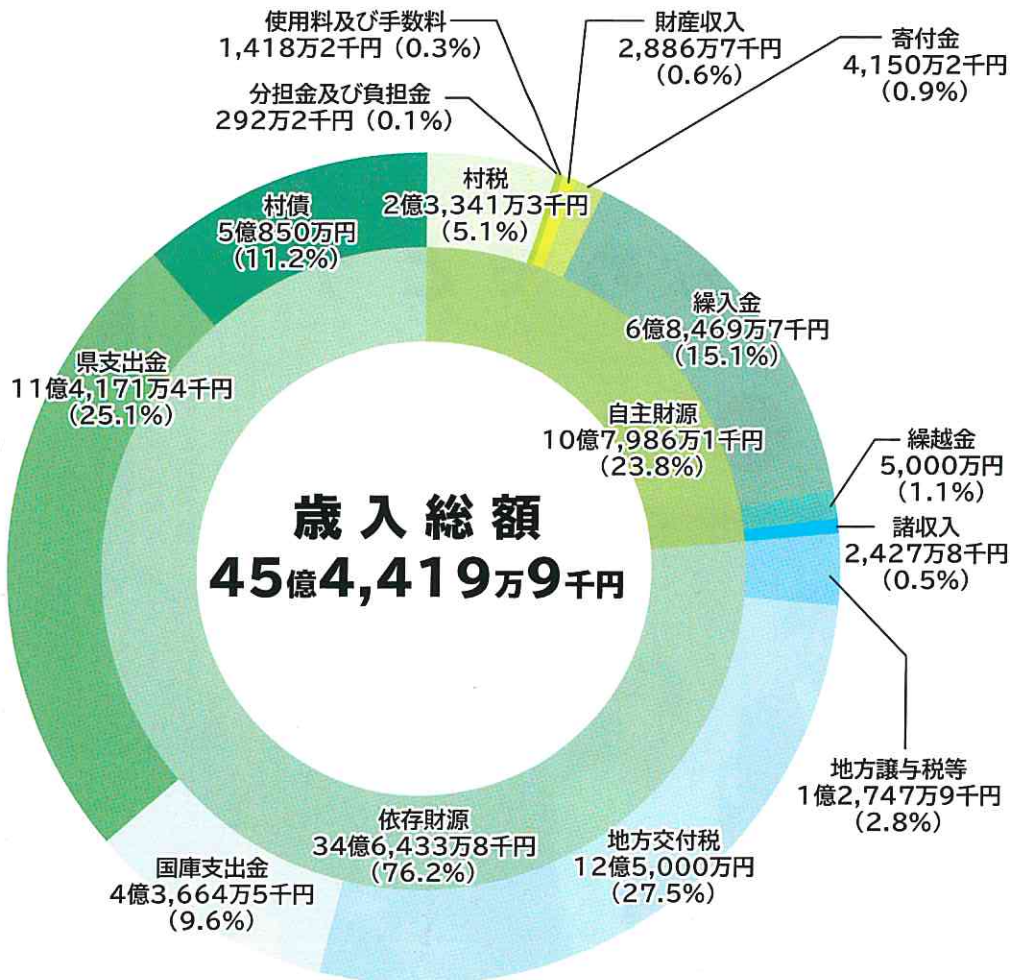
ピッカピッカの1年生

五木東小学校入学式 (令和6年4月9日)

- 一般会計当初予算 45 億 4420 万円 (3月定例会) P2~3
- 「ダム問題の決断はいつするのか」(一般質問) P7~10
- 村人インタビュー (松本美虹さん) P11

新年度 予算

4,419万9千円



令和6年第1回五木村議会定例会が3月8日から15日までの会期で開催。上程された案件は、「人事案件3件」、「指定管理者の指定1件」、「振興計画の策定1件」、「条例の制定4件」、「条例の改正2件」、「工事協定の変更・工事変更契約案件4件」、「令和5年度補正予算案件7件」、「令和6年度当初予算10件」と最終日に追加提案として、「人事案件1件」、「指定管理者の指定2件」の計35件であった。欠席した7番議員以外の全議員の賛成により原案どおり可決した。

また、11日には一般質問で4人の議員が執行部を質した。

主な事業

タブレット導入事業（各世帯等への設置）

1億8,000万円

道の駅施設改修事業

1億7,500万円

村道白蔵線地すべり災害復旧事業業務委託料

1億円



道の駅は老朽化のためリニューアルします

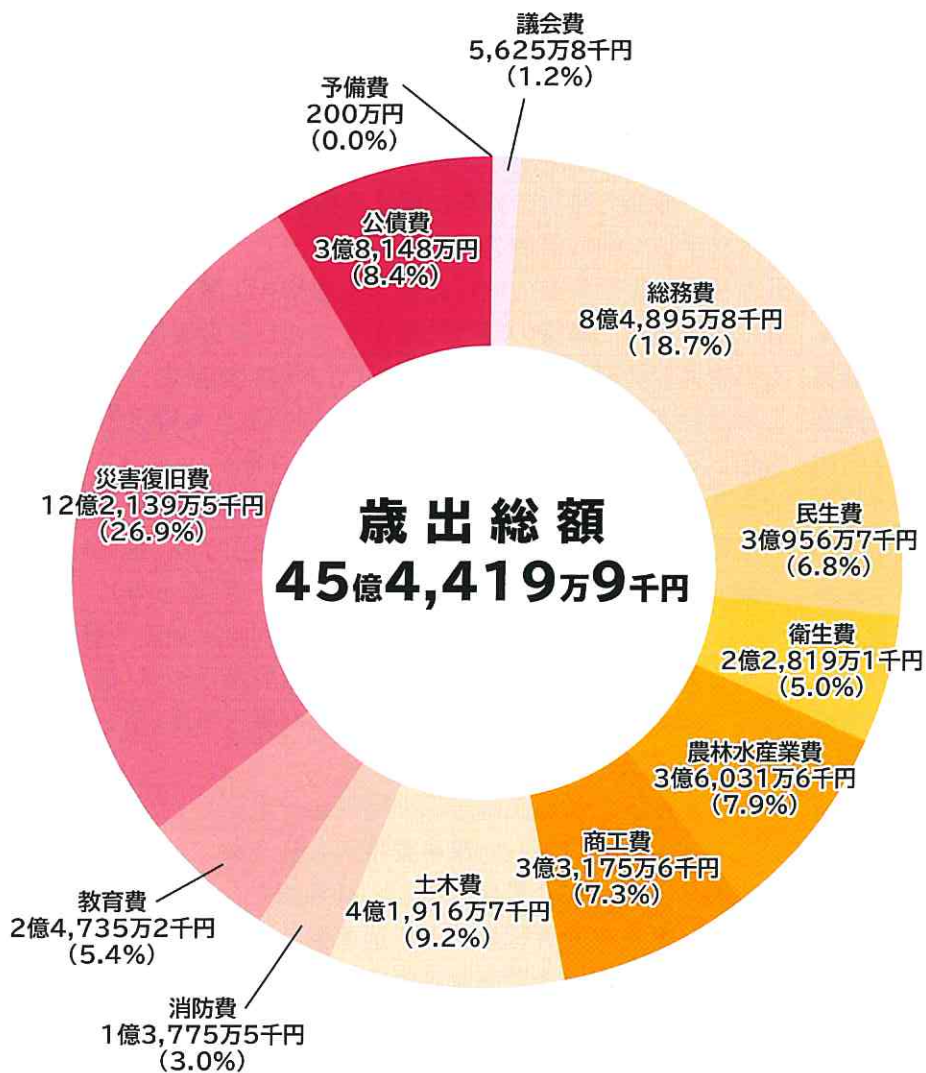


タブレット導入事業では様々な端末が使用できるようになります

3月 定例会

当初予算可決 45億

令和5年5月15日に国・県・村で確認した「ひかり輝く、新たな五木村振興計画」の実現に向けて、令和6年度当初予算45億4千万円の予算を使い、しっかりと五木村の振興につなげていく必要がある。



令和6年度当初予算対前年度比較表

(単位：千円、%)

会計名	令和6年度	令和5年度	対前年度	
			増減額	増減率
一般会計	4,544,199	4,495,243	48,956	1.1
国民健康保険特別会計	156,862	156,007	855	0.5
ダム対策事業特別会計	308	308	0	0.0
簡易水道事業特別会計	会計方法変更	91,676		
農業集落排水事業特別会計	会計方法変更	11,826		
介護保険特別会計	211,446	215,608	△ 4,162	△ 1.9
代替地上下水道特別会計	17,986	20,304	△ 2,318	△ 11.4
後期高齢者医療特別会計	34,519	30,671	3,848	12.5
墓地公園特別会計	282	2,008	△ 1,726	△ 86.0
情報通信事業特別会計	207,823	289,868	△ 82,045	△ 28.3
特別会計計	629,226	714,774	△ 85,548	△ 12.0
合計	5,173,425	5,210,017	△ 36,592	△ 0.7

議 案 名	
第3号議案	固定資産評価審査委員会委員の選任について
第4号議案	固定資産評価審査委員会委員の選任について
第5号議案	教育委員会委員の選任について
第6号議案	指定管理者の指定について(五木村保健福祉総合センター)
第7号議案	五木村振興計画(後期基本計画)の策定について
第8号議案	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
第9号議案	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
第10号議案	五木村避難行動要支援者名簿に関する条例の制定について
第11号議案	五木村特産品加工施設の設置及び管理に関する条例の制定について
第12号議案	五木村一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
第13号議案	五木村手数料徴収条例の一部改正について
第14号議案	五木村災害復旧事業の施行に関する令和4年度実施協定書の変更について
第15号議案	五木村災害復旧事業の施行に関する令和5年度実施協定書の変更について
第16号議案	工事請負変更契約の締結について(五木村告知放送システム改修工事)
第17号議案	工事請負変更契約の締結について(林道相良五木線災害復旧工事)
第18号議案	令和5年度五木村一般会計補正予算(第9号)
第19号議案	令和5年度五木村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
第20号議案	令和5年度五木村簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)
第21号議案	令和5年度五木村介護保険特別会計補正予算(第5号)
第22号議案	令和5年度五木村代替地上下水道事業特別会計補正予算(第1号)
第23号議案	令和5年度五木村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
第24号議案	令和5年度五木村情報通信事業特別会計補正予算(第3号)
第25号議案	令和6年度五木村一般会計予算
第26号議案	令和6年度五木村国民健康保険特別会計予算
第27号議案	令和6年度五木村ダム対策事業特別会計予算
第28号議案	令和6年度五木村介護保険特別会計予算
第29号議案	令和6年度五木村代替地上下水道事業特別会計予算
第30号議案	令和6年度五木村後期高齢者医療特別会計予算
第31号議案	令和6年度五木村墓地公園特別会計予算
第32号議案	令和6年度五木村情報通信事業特別会計予算
第33号議案	令和6年度五木村簡易水道事業会計予算
第34号議案	令和6年度五木村農業集落排水事業会計予算
第35号議案	五木村教育長の選任について
第36号議案	指定管理者の指定について(道の駅 子守唄の里五木)
第37号議案	指定管理者の指定について(五木村コテージ及び森の遊び場)

五木村振興基金条例の可決

第1回臨時会

令和6年第1回五木村議会臨時会が1月19日に開催され「”ひかり輝く”新たな五木村振興計画」の策定に併せて基金の設置を目的とした条例を全会一致で原案のとおり可決した。

議 案 名		審議結果
議案第1号	五木村振興基金条例の制定について	原案可決 全員賛成

補正予算を可決

第2回臨時会

令和6年第2回五木村議会臨時会が2月14日に開催され一般会計補正予算が上程され、全会一致で原案のとおり可決した。

・五木村振興基金 10億1,000円

議 案 名		審議結果
議案第2号	令和5年度五木村一般会計補正予算(第8号)	原案可決 全員賛成

補正予算2議案、 介護支援関連条例4議案を可決

第3回臨時会

令和6年第3回五木村議会臨時会が3月29日に開催され一般会計・簡易水道会計の2補正予算、介護保険条例の改正にともない一部改正議案ほか3議案が上程された。

一般会計では、次年度への繰り越し事業についても提案された。
全議案とも全会一致で原案のとおり可決した。繰越事業は以下のとおり。

- ・くま川鉄道経営安定化補助金（災害復旧費）
64万2,000円

・村有林作業道開設事業業務委託料
3,300万円
- ・小水力発電事業性調査等業務委託料
24万2,000円

・五木村デジタル防災行政無線屋外拡声子局新設事業
1,721万8,000円
- ・高野雑種地管理道整備事業
53万3,000円

・林道下入鴨線災害復旧事業外3件
7,674万円
- ・物価高騰対策生活者支援事業（LPガス使用世帯への支援）
227万4,000円

・村道折立線道路災害復旧工事外6件
1億9,934万6,000円
- ・戸籍住民記録システム改修事業外2件
1,827万8,000円

・元井谷川河川災害復旧工事
1億560万円
- ・保健センター空調設備改修工事
3,809万3,000円

・村道白蔵線地すべり災害復旧事業
7億5,600万円

議 案 名		審議結果
第38号議案	五木村介護保険条例の一部改正について	原案可決 全員賛成
第39号議案	五木村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決 全員賛成
第40号議案	五木村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	原案可決 全員賛成
第41号議案	五木村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決 全員賛成
第42号議案	五木村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決 全員賛成
第43号議案	令和5年度五木村一般会計補正予算(第10号)	原案可決 全員賛成
第44号議案	令和5年度五木村簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決 全員賛成

木下村政 「ダムを前提とした村づくり」の スタートラインに

令和6年4月21日 村民集会

令和6年4月21日曜日、五木東小学校体育館において村民集会が開かれ、約140名の村民が参加した。

この場において木下村長は、五木村が翻弄されてきた川辺川ダムの過去を振り返り、令和2年7月に起きた豪雨災害の発生に端を発した下流域を守るための流水型ダム建設について考えを述べた。

木下村長は、もっとも懸念していた環境問題について、環境影響評価準備レポートが公表され、その手法が最新の知見を基に、最大限環境に配慮したものであり、村が提出した五木村の環境への影響を極限まで最小化する手法を今後も検討することなどの11項目の意見を含めた意見書を県は国に提出した。また五木村の振興においても国や県が最大限の支援をするという回答があり、木村新熊本県知事からも蒲島前知事の方針を確実に引き継いで行くとの発言が得られたと語った。

これまで様々な場所で村民から早く新たな五木村づくりの方向性を示してほしいと言われてきた村長としてダム問題を早期に乗り越え、地域振興の確実な実行のために流水型ダムを前提とした村づくりをすることを示し、今後は目に見えるようなスピード感をもって、国や県の支援のもと村の振興を実現したい。これはゴールではなく新たなスタートであり、五木村が主体的かつ前向きに地域振興に取り組んで行くことが重要であると村民に説明した。



村民会場で説明する木下村長



村民集会の様子

村政を問う

一般質問

ダム問題の決断はいつするのか

木下村長 早いうちに村民大会を開催し考えを示したい



田山 淳士 議員

村長 私の考えも議員と同じであり、早い時期に村民集会を開いて村民の皆さんに私の考えを示したい。

ダム問題は長くなれば永くなるほど、村は衰退していくばかりと思う。ダム問題は早く決断をして村づくりに力を入れる時が来ていると思うが。

質問 五木村はダム問題で長い間、国県に翻弄され続けている。村の「振興策は待ったなし」とか「スピード感をもって」等をよく耳にするが、現在の村のスタンスでは振興策も前に進まないのではないかと思う。

ダム問題の決断は



下部写真の水理模型現地のような



久領地区にある川辺川ダムの水理模型実験施設視察状況

質問 早い時期とは具体的にいつ頃なのか。
村長 1ヶ月から2ヶ月以内にと考えている。



水理模型実験施設の全景 60分の1

子守唄の伝承の強化を

木下村長 五木の子守唄は誇れる文化として
取り組む

村政
を
問う

一般質問



藤本 新一 議員

観光で村の振興を

質問 本村を観光で振興するとき、理想をどう村長は考えているか。

村長 自然豊かな山や川、フクジュ草、山桜等、五木村の自然を生かした取り組みができる観光を進めていきたい。

質問 本村の伝統と文化のある古民家を活用する村長の考えは。

村長 観光の資産として生かすかは今後検討したい。

質問 古民家を宿泊施設として活用するとか、夕食朝食の食材を村内から集めて道の駅で販売する考えはないか。

村長 実際の運用は民間の力が必要になるので、村外の企業等にPRをしたい。

質問 五木の子守唄は五木の宝であり、広く長く伝承して行く必要がある。それには宣伝が重要であるが村長の考えは。

村長 村がほこるべき資産で、保育園小中学校等で子守唄に触れる機会を増やすよう教育委員会と一緒に取り組んでいきたい。

質問 後期基本計画の中で子守唄は観光振興の中でPRをしていくとあるが、どのような計画なのか。

村長 PR等を強化。昨年度立ち上げた東日本ふるさと会等の支援等で取り組む考えである。

質問 長年、子守唄祭は2日間で開催で7、8千人位の来客があつていたが、予算的にも変わらない状態で年4回行っている。その中に子守唄

の伝承、五木らしさや木やり等もないように思うが。

村長 コロナ感染拡大で各町村でもイベントも無くなっている。村民の方々が集まって交流する目的で企画した。

質問 子守唄の伝承等の効果はあるのか。

村長 SNS等発達しており海外の方でも五木の子守唄を聞いてもらう文化伝承する企画も考える必要がある。

質問 四季4回の祭りを今後も続けられるのか。

村長 実行委員会で協議するが、芸能人の招致、音響関係、舞台設置等大きなウェイトを占める祭りは考えていない。

質問 五木の子守唄は暗い寂しいイメージがある。しかし歌詞をかみ砕いて考えると「つつん」ツバキも生活する上で重要で、整髪剤や炭などいろいろな形で使用する重要な物であったことなどを伝承していく必要があるが。

村長 五木の子守唄をしつかりと残して誇れる文化として取り組みたい。

質問 子守唄は百以上の歌詞がある。一人の歌い手だけではなく多くの人が歌っている。一人一人歌い方も違うのでテープ等を流す方策も必要と思うが。

村長 道の駅で定期的にCDにより曲を流している。



令和5年5月21日、五木の新緑祭りのようす

村政を問う

一般質問

林業は五木村の基幹産業と思うが 村長の林業振興についての考えは

木下村長 山の村として林業がしっかり村を支える産業として構築していきたい

瀬目公園のトイレについて

質問 瀬目公園のトイレの改修の予定はあるか。

土肥産業振興課長 国交省の方でつくっていただいて、村が管理している、施設管理の協定を結ばせていただいております、改修については、国と村で協議をして検討していきたい。

質問 五木村の入り口の施設でもあるので早く改修をして頂きたい。

村長 トイレがまだ和式のままのところは確認している。五木村の入り口の施設として国と協議していく。



川邊 正美 議員

林業振興について



瀬目公園トイレ

質問 近年、森林整備員特に造林作業に従事する人材が不足しているが、担当課長の考えは。

土肥産業振興課長 整備員の確保は村の最重要課題である。雇用関係を改善しながら、森づくり協議会でも提案し、各事業体の雇用体系の考え方もあると思うので話を伺いながら検討していきたい。

質問 林業は五木村の基幹産業と思うが村長の林業振興に

についての考えは。

村長 林業振興については、体制の構築、働いている方々の環境の改善を含め、今後とも山の村として林業がしっかり村を支える産業として構築していきたい。

質問 造林事業はほとんどが補助金を活用していると思うが、施業体制が変わることで補助率等に影響はないか。

土肥産業振興課長 雇用の時間等を含めたところで、施業

体系が変わっても問題はない。

質問 林業大学の卒業生が1人でも多く五木村に残ってもらうように、日頃からお願いしていただきたい。

村長 人材確保について林業大学の卒業生の勧誘は、当然と思う。今回1名の方が村内の事業体に入っていたということで大変ありがたいと思っている。今後県とも協力しながら確保していきたい。



間伐により整備された造林地

温泉センター改修は

木下村長 早急に改修出来るようにしたい



早田 吉臣 議員

質問 公共施設および関連設備の維持管理状況は。

平岡総務課長補佐 維持管理については各課、所管する施設及び関連設備を管理している。

質問 その維持管理は書面などで管理されているのか。

平岡総務課長補佐 各設備管理に関するマニュアルに従い保管管理している。

質問 チェックシートなどを用いているのか。

平岡総務課長補佐 チェックシートではないがマニュアルに沿って行っている。

質問 昨年診療所、福祉センターのエアコンの不具合が発

生した。設備の耐用年数の把握はできているのか。

平岡総務課長補佐 五木村公共施設など総合管理計画で管理をしている。

質問 道の駅、温泉センターのボイラーなどは全面改修時期に来ているのではないか。

村長 令和4年4月に基本構想的なものを提案している。早期に改修出来るようにしたいと思っている。

五木村の連携協定について

質問 五木村と大学また民間との連携協定はどれくらいあるのか。

平岡総務課長補佐 五木郵便局との協定、安全・安心な暮らし、道路損傷などの情報提供、九州電力、肥後銀行、春夏イチゴ生産の団地化に改修連携、大学では熊本県立大学、崇城大学と協定をしている。

質問 大学との連携協定を

交わしているがその姿がよく見えないが特に今、DXやSNSを活用した活性化などを考える必要があるのではないかと。

村長 大学と包括協定を結んで学生の若い人の視点と知恵でDXなど五木に合ったようなかたちづくりが必要と思っている。

質問 大学生の中には自然の中で暮らしたい人もいると思う。そのような人を活用してみたらどうか。

村長 人材も含めた情報提供をいただき、五木の村づくりに資するようなことに努めて行きたい。

質問 姉妹都市などを活用し国際交流を人材育成で出来ないか。

村長 教育委員会でも検討をして頂き人材育成基金で海外に行き勉強することについて

では細部の検討は必要と思うが使うことについては良いと思っています。

(その他g7サミットについても質問しました。)

編集注…DXとはデジタルトランスフォーメーションの意味。デジタル技術を使い、生活をより良い物にすること。



老朽化している温泉館のボイラー



まつもと みこ
松本 美虹さん(頭地)

①自己紹介

2024年(令和6)4月より教育委員会に地域おこし協力隊として着任いたしました松本美虹と申します。大学院で民俗学を学び、10年以上、埼玉、東京、神奈川で自治体運営の博物館施設、財団運営の博物館施設、大学博物館で学芸員の仕事をしてきました。新しい博物館施設を開館する準備の仕事をしていた時期もあり、その際は市役所の教育委員会に勤務しておりましたので、現場での業務は経験があります。専門は織物なので製糸道具、養蚕用具について、ご説明ができます。

実家は東京ですが23区ではなく、郊外にある日野市という緑が多い地域です。

学生の頃より手話を学んでおり、日常会話程度であれば手話を言語とされている方とコミュニケーションができます。将来的には手話で展示説明ができれば良いなと思っています。

②仕事について

地域おこし協力隊として、五木村に保存されている民具の調査、整理、展示を行う仕事になります。民具とは、かつて使用されていた道具のことです。極端な話ですが、かつて使用されていた道具はすべて民具と呼べます。

民具の調査としては名称、材料などを調べるほか、使用方法について聞き書きする必要があります。例えば焼畑の道具の使用方法是、使用した経験があるまたは使用している様子を見ていた人でないと説明することは困難です。使用方法を記録することで、かつての人々の暮らしを明らかにし、それを村民の方々に展示などを通して伝えていきたいと考えています。

③五木村に住んでみて

歩いていると挨拶いただけるのが有難いです。また、山の色がカラフルなのに驚きました。東京の山の色は濃い緑色、薄い緑色くらいしかありませんが、五木村では緑色のほかに山桜の色や枯葉の黄色を見ることができ、とても新鮮です。

④村や議会にのぞむこと

近年、五木村はダムにより村民の暮らしが変化しているため、そのような近年の暮らしの変化についてお話を伺えますと幸いです。

議会の動き(1月~3月)

- 1月**
- 4日 二十歳を祝う会(全議員)・広報委員会(第1回)
 - 9日 球磨郡町村議会議長会(岡本議長)
 - 10日 定例全員協議会(全議員)
 - 16日 広報委員会(第2回)
 - 18日 ウッドスタート誕生祝い贈呈式(岡本議長)
 - 19日 第1回臨時会(全議員) 臨時全員協議会(全議員)
 - 22日 広報委員会(第3回)
 - 23日 熊本県町村議会議員研修会(オンライン)・全員協議会(全議員)
 - 24日 例月出納検査(田山監査委員)
 - 25日 広報委員会(第4回)

- 2月**
- 4日 一般県道覚井一武線球磨大橋着工式(岡本議長)
 - 6日 九州地方整備局要望・熊本県要望・県議会訪問(全議員)
 - 8~9日 視察研修(立野ダム)(全議員)
 - 9日 道の駅通潤橋視察研修(山都町)(全議員)
 - 14日 第2回臨時会・全員協議会(全議員)
 - 15日 「学校へ行こうの日」(東小学校)(全議員)
 - 16日 下球磨町村議会正副議長会研修会(岡本議長・中村副議長)
 - 21日 例月出納検査(田山監査委員)・五木の若者と意見交換会(全議員)

- 22日 第74回熊本県町村議会議長会定期総会・懇談会・定例郡議会議長会(議長)
- 人吉球磨広域行政組合議会運営委員会(田山・西村議員)
- 28日 臨時全員協議会(全議員)
- 29日 人吉球磨広域行政組合議会定例会(田山・西村議員)

- 3月**
- 1日 議会運営委員会(各委員)・人吉高等学校五木分校卒業式(岡本議長)・人吉下球磨消防組合議会全員協議会(川邊議員)・人吉下球磨消防組合議会定例会(川邊議員)
 - 5日 定例全員協議会・九州地方整備局長要望回答・熊本県知事要望回答(全議員)
 - 8日~15日 第1回定例会(全議員)
 - 10日 五木中学校卒業式(全議員)
 - 16日 人吉球磨広域行政組合議会運営委員会(田山・西村議員)
 - 21日 五木東小学校卒業式(全議員)・例月出納検査(田山監査委員)
 - 22日 第31回熊本県町村監査委員協議会定期総会・研修会(田山監査委員)
 - 23日 いつき保育園卒園式(岡本議長)
 - 25日 人吉球磨広域行政組合議会定例会(田山・西村議員)
 - 29日 第3回臨時会(全議員)・ダム対策調査特別委員会(全議員)

空から こんにちは!

連載第1回

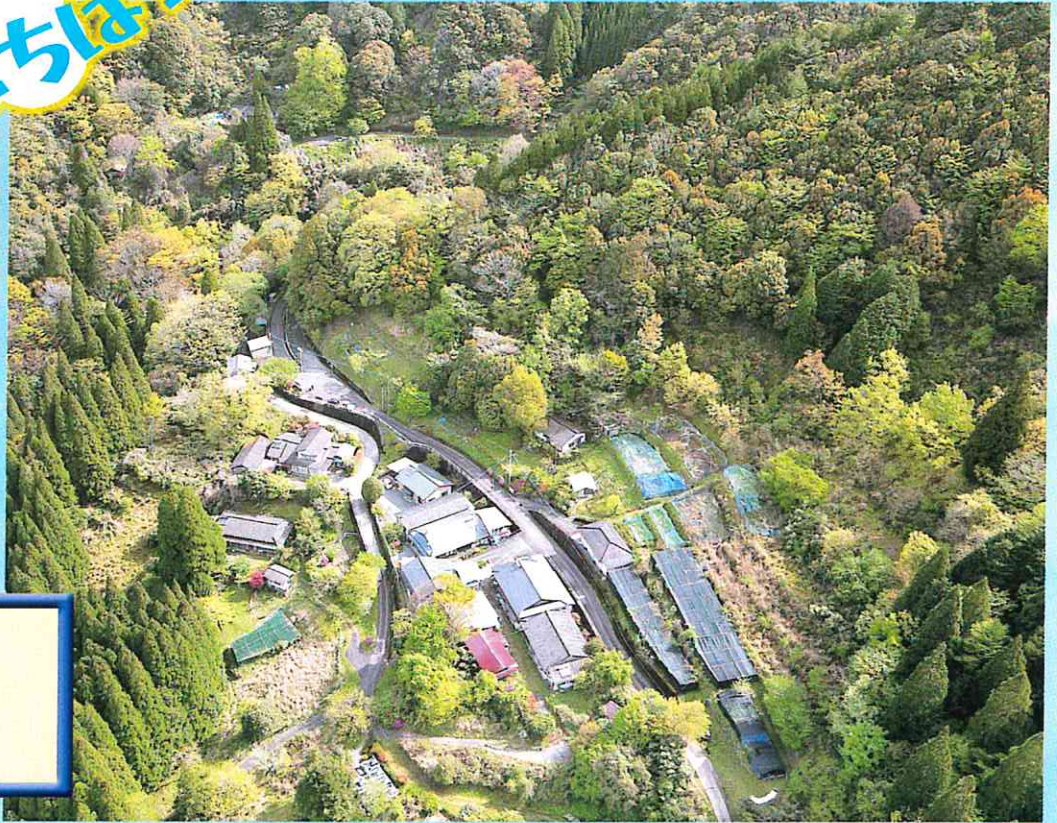
五木村議会だより

やあめ

148号

2024.4.10発行

発行責任者 五木村議会 岡本清一 20080201 熊本県球磨郡五木村 267217



瀬目地区

世帯数 5世帯
人口 15人



葛ノ八重地区

世帯数 3世帯
人口 4人

写真提供：
地域おこし協力隊
平山 光信

次回の定例会は6月上旬の予定です。
皆様の傍聴をお待ちしております。

五木村議会広報委員会
委員長 田山 淳士
副委員長 園田 良治
委員 中村 俊也
委員 川邊 正美

つぶやき

最近は何日か過ぎていくのが早く感じるようになってきたのは、私だけでしょうか。皆さん

はいかがですか。年明けから暖冬が続いていますが、これも異常気象の一つかもしれませんね。今年は梅雨や台風などで集中豪雨の災害が心配です。災害はいつ起きるかわかりません。大雨が降ったら早めの避難をお願いします。

世界中を震撼させた新型コロナウイルスも何とか一段落しましたが、経済や冠婚葬祭など大きく変わりました。今年度はダム問題も解決に向けて大きく変わっていくと思います。今後とも村民の皆様の支えとご支援を受けて頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

田山 淳士

表紙題字：故 尾方 芳郎氏